

26年2月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成26年 1月20日 ~ 26年2月10日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
2月分の回答企業数は8社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight.D.I.

品目		26/2月	3月	4月
入荷動向	国産材	20.0	10.0	20.0
	外材	14.3	7.1	21.4
在庫動向	国産材	30.0	10.0	0.0
	外材	21.4	0.0	21.4

国産材及び外材ラミナの入荷は、共に2月の増加が3,4月には減少に。
国産材ラミナ及び外材ラミナの在庫は共に2月の増加が4月に向け横ばい、ないし減少に。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight.D.I.

品目	26/2月	3月	4月
国産材	16.7	8.3	8.3
欧州材	28.6	21.4	7.1
その他	0.0	0.0	0.0

国産材ラミナ購入価格はやや強保合で推移、欧州材は強保合ないし、やや強保合で推移、その他は横ばいで推移。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き)

- ・1月のカラマツラミナの総入荷量は発注量の7割とかなり低かったが、2月初旬から入荷は順調。2月のカラマツラミナの入荷は発注量に対し9割を見込むため在庫量はやや増加。
- ・外材ラミナの入荷少し多目で在庫増。
- ・国産材ラミナの入荷量は、やや上昇傾向。

(ラミナ価格動向)

- ・特にカラマツラミナについては合板メーカーの丸太価格大幅引き上げで丸太不足が発生、丸太価格がどこまで上がるか懸念される。
- ・輸入ラミナ価格のピークを迎えた状況。
- ・2013第4四半期～2014第1四半期と横ばい、今後RWラミナ価格上がると予想。
- ・国産材ラミナ価格は徐々に落ちついて行く見込み。

26年2月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/2月	3月	4月
生産動向	国産材	0.0	0.0	30.0
	WW集成管柱	0.0	0.0	25.0
	R W集成平角	16.7	16.7	16.7
	米マツ集成平角	25.0	25.0	25.0
	WW集成平角	0.0	50.0	0.0
出荷動向	国産材	16.7	8.3	41.7
	WW集成管柱	12.5	12.5	12.5
	R W集成平角	8.3	8.3	25.0
	米マツ集成平角	25.0	25.0	25.0
	WW集成平角	0.0	50.0	0.0

国産材集成材及びWW集成管柱の生産は2,3月の横ばいが4月には減少に、RW集成平角及び米マツ集成平角は減少傾向で推移、WW集成平角は2月の横ばいが3月の増加を経て4月には横ばいに。
国産材集成材、RW集成平角及び米マツ集成平角の出荷は減少傾向で推移、WW集成管柱は、2,3月の増加が4月には減少に、WW集成平角は2月の横ばいが3月の増加を経て4月には横ばいに。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	26/2月	3月	4月
スギ集成管柱	12.5	12.5	12.5
ヒノキ集成柱	50.0	25.0	25.0
ヒノキ集成土台	33.3	16.7	33.3
カラマツ集成土台	0.0	25.0	25.0
WW集成管柱	37.5	37.5	0.0
R W集成平角	20.0	20.0	10.0
米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
WW集成平角	0.0	50.0	0.0
米ヒバ土台角	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成平角	0.0	0.0	50.0

スギ集成管柱、ヒノキ集成柱及び同集成土台は、2,3月の強含みないし強保合が4月には弱保合ないし弱含みに、カラマツ集成土台は2月の横ばいが3,4月には強保合に、WW管柱は2,3月の強保合が4月には横ばいに、RW平角は強保合で推移、米マツ平角及び米ヒバ土台は横ばいで推移、WW集成平角は2月の横ばいが3月の強保合を経て4月には横ばいに、カラマツ集成平角は2,3月の横ばいが4月には強含みに。

モニターからのコメント

(構造用集成材荷動き)

- ・12,1月をピークに受注やや落ち着いてきた。但し繰り越し受注残を含めると2月もキャパシティ相当の受注量。2月のラミナ入荷は、1月対比で多少改善し、生産量は増加するも絶対量は不足しており、3月以降も不透明。今後もラミナの入荷量とそのタイミングが生産量に影響。2月以降の受注は多少落ち着いてきたものの受注残の消化と駆け込み需要で3月までの需要は底堅いと予想。4月以降はハウスメーカー等に関連する納材はある程度見込めるが総体的には不透明。また、ラミナ出材不足の大幅な解消も見込めず、生産量が出荷量を大きく左右する。
- ・RW集成平角は冬に入ってから生産減で増産できない。注引量は多目で減っておらず、荷動きよしだが、3月に向けては？。
- ・RW集成平角は1月に比較し少し落ち着いてきた、出荷は1月の受注残をこなすのが精一杯。
- ・消費増税前の駆け込みは落ち着いてきており、出荷量は全体的にボリュームダウン。
- ・
- ・